

雄島参りと冠島

京都府・舞鶴市



舞鶴市の北方約10キロの若狭湾上にその形状から冠島(別名:雄島^{おしま})、杓島と呼ばれる大小の無人島が寄り添って浮かんでいる。古来から、その近海は若狭湾西部の好漁場として、また海上交通の要所として知られ、特に冠島は海難からの避難島として利用されており、海に生きる人々にとって神の島「雄島さん」の愛称で篤い信仰を集めてきた。しかし、大正13年(1924年)になって、雄島はオオミズナギドリ^{おいとしま}の繁殖地として国の天然記念物に指定されると、通常は上陸が禁止されたが、島内にまつられている老人島神社の例大祭が行われる6月1日の「雄島参り」に限り上陸が許されている。

「雄島参り」は老人島神社の祭祀権を共有する大浦半島の野原地区、小橋地区及び三浜地区の各漁港から出た漁船が大漁旗をなびかせ、笛と太鼓で祭囃子をかなでながら賑やかに沖合いの雄島に向かい、上陸後、赤い幟^{のぼり}を老人島神社の社殿に立て、豊漁と海上安全の祈願祭を古式豊かに行う。

TOPICS

- ・海開き(7月上旬)
- ・小橋の精霊船(8月15日)

お問い合わせ先

舞鶴市経済部水産課

TEL / 0773-66-1020

URL / <http://www.city.maizuru.kyoto.jp/>

6月1日の「雄島参り」は、許可された人のみ上陸することができる。

「雄島」を望むビューポイント

「三浜峠」・「大浦自然休暇村大浦ハイランド」

